

# 全国産業安全衛生大会

11月8日～10日 神戸にて

「官民連携の製造業安全対策」

「労働安全衛生マネジメントシステムの国際規格化」

「第三次産業対策」

3つを柱に開催

さかきばら さだゆき

中央労働災害防止協会（会長 榊原 定征・（一社）日本経済団体連合会会長）は、平成29年11月8日（水）～10日（金）の3日間、ワールド記念ホール、神戸国際展示場、神戸国際会議場などで開催する「第76回 全国産業安全衛生大会」のプログラムの柱として、「官民連携の製造業安全対策」「労働安全衛生マネジメントシステムの国際規格化」「第三次産業対策」を掲げることとしました。

本大会は「安全・健康の未来を拓こう 神戸から<sup>ひら</sup>」を全体テーマに、12の分科会（リーフレット参照）を設け、労働災害防止対策、職場の健康づくり、安全衛生活動の取り組み、防災・危機管理、交通安全などの講演・セミナー、事例・研究発表に加え、対談・パネルディスカッション等（別添1）など計258のプログラムを用意します。

「官民連携の製造業安全対策」としては、現在、厚生労働省、経済産業省、中災防および製造業の主要な業界の経営層とともに設立した「製造業安全対策官民協議会」の成果発表などを行う「特別セッション」（別紙）を開催します。官民が連携し、業界の垣根を越えて、企業の経営トップ層の参加により、これからの安全対策、安全衛生活動を考える場となることを目指します。

「労働安全衛生マネジメントシステムの国際規格化」では、ISO化の議論が大詰めを迎えている労働安全衛生マネジメントシステム（OSHMS）の国際規格「ISO 45001」の発行を見据えた最新情報をパネルディスカッションなども交えて提供します。

「第三次産業対策」については、今年スタートした第三次産業の「働く人に安全で安心な店舗・施設づくり推進運動」（別添2）に関する取組成果を発表します。

このほか、今後の重要課題である「働き方改革」に関して、過重労働による健康

影響、誰もが安全でイキイキと働ける職場づくりの活動事例、病気の治療と仕事の両立支援の事例紹介等を交えた「働き方改革実行計画」に基づく労働衛生行政の施策の説明などのプログラムも予定しています。

さらに下記のような著名人の講演を予定しています。  
(その他の主要な講師は別添3)

◎高橋 政代氏 (理化学研究所 多細胞システム形成研究センター 細胞再生医療研究開発プロジェクト プロジェクトリーダー)「網膜再生医療の開発～研究開発におけるリーダーシップ」〈11月8日〉

◎朝原 宣治氏 (北京五輪 メダリスト)「目標達成のためのセルフマネジメント」〈11月9日〉

◎白川 英樹氏 (2000年ノーベル化学賞受賞)「知ること～セレンディピティーと待ち構えた知性～」〈11月10日〉

本大会と同時開催で、国内最大の保護具・機器の展示会「緑十字展 2017—働く人の安心づくりフェア」(入場無料)も神戸国際展示場(1号館・3号館)で開催します。今回で50回の節目を迎えるにあたり、50回記念特別展示などを行う予定です。

本大会および緑十字展の取材対応等につきましては、詳細が固まり次第、ご案内いたします。

#### 【取材のお願い】

本大会につきましては、実行委員会(委員長:梅原尚人 一般社団法人兵庫労働基準連合会会長)を設置し、準備を進めています。全国大会準備状況、今後のスケジュールなどについて議論する「第2回実行委員会」を、8月2日(水)15時30分から、神戸三宮東急REIホテル(神戸市中央区)にて行います。

上記委員会のご取材につきましては、事前に下記の照会・取材連絡先(03-3452-6542)にご一報ください。よろしくお願いいたします。

※第76回全国産業安全衛生大会の実行委員会メンバーは、兵庫県内の各労働基準協会会長、兵庫県経営者協会、神戸商工会議所、兵庫県医師会など経済団体等の長、労働災害防止関係団体の地元支部などの会長・支部長等で構成しています

※この資料は、兵庫県政記者クラブ、神戸市政記者クラブ、神戸民間放送記者クラブに加え、厚生労働記者会、厚生労働省労政記者クラブ、日比谷クラブ、経済産業記者会、鉄鋼研究会に配布しています。

中央労働災害防止協会 教育推進部長 中屋敷 勝也  
同 イベント事業課長 大久保 利一

#### 【照会・取材連絡先】

中央労働災害防止協会 総務部 広報課長 高橋 まゆみ  
(電話) 03-3452-6542 (FAX) 03-3453-8034

---

## 対談・パネルディスカッション等

---

今大会では、対談・パネルディスカッション等を5つご用意しております。ここでは、時宜にかなったテーマについてさまざまな問題を取り上げ、多角的に議論することで、今後の取り組みのために有効な情報の共有を目指しております。

事業場の安全衛生の推進に携わる皆様の多数のご来場をお待ちしております。

### 【1】11月9日(木) リスクアセスメント／マネジメントシステム分科会

#### 【対談】

テーマ：JISHA方式適格OSHMS認定事業場に見られる安全衛生レベル向上について  
～こうすれば、さらに良くなる安全衛生～

慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 教授 高野 研一  
国立大学法人 東京工業大学  
イノベーション科学系 技術経営専門職学位課程 特任教授 中村 昌允

### 【2】11月9日(木) リスクアセスメント／マネジメントシステム分科会

#### 【パネルディスカッション】

テーマ：ISO（JIS）45001および新たなJISによる展開

#### 【パネリスト】

明治大学 名誉教授・校友会会長 向殿 政男  
(株)テクノファ 取締役会長 平林 良人  
他 労働安全衛生マネジメントシステム導入事業場 パネリスト数名

#### 【助言者】

経済産業省 産業技術環境局 基準認証ユニット 国際標準課長 藤代 尚武  
厚生労働省 労働基準局 安全衛生部 安全課 主任中央産業安全専門官 高橋 洋  
中央労働災害防止協会 技術支援部長 南保 昌孝

### 【3】11月9日(木) 第三次産業分科会

#### 【腰痛予防対策セッション】

テーマ：社会福祉施設、小売業等を対象とした「働く人に安全で安心な店舗・施設づくり推進運動」の一環として、社会保健施設における腰痛予防対策として現在取り組まれている

る「ノーリフトケア」についての概要、その効果、現場での取り組み状況について解説・報告を行う。

【座長】中央労働災害防止協会 大阪安全衛生教育センター 所長 松下 高志

【特別報告】保健衛生業における腰痛予防対策～現状と課題～

滋賀医科大学 社会医学講座・衛生学部門 講師 北原 照代

【事例1】特別養護老人ホームにおける介護職員の腰痛予防対策実践報告とストレス対策について

社会福祉法人市原寮グループ 介護老人福祉施設 花友しらかわ

理学療法士 安全衛生委員 松本 哲郎

【事例2】目からウロコ！ 腰痛予防の取り組みが介・看護技術向上に役立つってホント？

社会福祉法人帝塚山福祉会

介護老人保健施設 聖和苑 介護係長 寺前 光啓

【事例3】ノーリフトポリシーによる労働環境の改善と現場への浸透について

社会福祉法人 伸こう福祉会

特別養護老人ホーム クロスハート幸・川崎 フロアリーダー 遠藤 大輔

【特別報告】日本におけるノーリフトケアの取り組みと今後

(一社) 日本ノーリフト協会 代表理事 保田 淳子

#### 【4】11月10日(金) 化学物質管理活動分科会

##### 【化学物質管理講座】

テーマ：化学物質のリスクアセスメントにおけるリスク評価手法の選択のポイント

化学物質のリスク評価の具体的な手法は、国等から多くのものが公開されている。本講座では、国や学会のリスク評価手法開発のための検討会の委員としての経験を踏まえて、コントロール・バンディングなどの実測値を用いない手法や検知管などの簡易測定器による実測値を用いた手法について、手法の特徴やその選択のポイントなど、実践に役立つ情報提供を行う。

国立大学法人 東京工業大学 大学マネジメントセンター 特任教授

(日本産業衛生学会 産業衛生技術部会 個人ばく露測定に関する委員会委員長)

橋本 晴男

中央労働災害防止協会 労働衛生調査分析センター

(日本産業衛生学会 産業衛生技術部会 個人ばく露測定に関する委員会副委員長)

山田 憲一

【5】11月10日(金)

メンタルヘルス／健康づくり分科会

【パネルディスカッション】

テーマ：安全衛生に生きる健康経営～安全衛生スタッフは健康経営とどう向き合うか～

【パネリスト】

ジャパンケーブルキャスト（株） 取締役企画管理本部長 佐藤 隆一

藤沢タクシー（株） 代表取締役社長 根岸茂登美

【司会】

NPO法人 健康経営研究会 東京事務局

（（株）ルネサンス 健康経営推進部 次長） 樋口 毅

## 「働く人に安全で安心な店舗・施設づくり推進運動」実施要綱

### 1 趣旨

第三次産業における労働災害の占める割合が年々増加する中、第12次労働災害防止計画において、小売業、社会福祉施設及び飲食店の平成29年の休業4日以上労働災害件数を平成24年に比してそれぞれ20%、10%、20%以上減少させることを目標としているが、平成28年11月末速報値を見ると、それぞれ2.0%、24.6%、10.0%の増加となっており、目標の達成は今後相当の努力をしなければ極めて困難な状況となっている。

労働災害が増加している要因としては、人手不足や労働者の高齢化などの要因のほか、転倒災害、腰痛災害など行動災害によるものが多く、事業場の取組が進んでいないこと、店舗・施設の安全衛生の体制をみると安全衛生担当者がいないなど店舗・施設単位での安全衛生活動が低調である中で、店舗・施設の活動をサポートすべき本社・本部の取組が不十分であることも指摘されており、店舗・施設のみならず企業・法人全体での労働災害防止の取組を進める必要がある。

本運動は、経営トップの参画の下、本社・本部における労働災害防止のための取組を促進し、本社・本部と店舗・施設の役割に応じた全社的な安全衛生活動を展開することにより、職場の危険箇所の除去、作業方法等の改善、労働者の危険に対する感受性・注意力の向上等を図ることにより、小売業、社会福祉施設及び飲食店における労働災害を減少させることを目的とするものである。

### 2 期間

平成29年1月1日から12月31日まで

### 3 主唱者

厚生労働省、中央労働災害防止協会

### 4 実施者

小売業及び飲食店の多店舗展開企業の本社及び店舗、多くの社会福祉施設を展開する法人の本部及び施設

### 5 主唱者の実施事項

#### (1) 厚生労働省の実施事項

- ア 小売業、社会福祉施設及び飲食店の労働災害防止に係る周知啓発資料等の作成、配布
- イ 小売業、社会福祉施設及び飲食店の労働災害防止対策に活用できるコンテンツを集めた特設サイトの開設
  - (ア) 災害事例、効果的な対策、好事例の紹介（チェックリストを含む）
  - (イ) 小売業、社会福祉施設及び飲食店の労働災害防止対策に資するセミナー等の開催、案内
- ウ 本運動を効果的に推進するための各種団体等への協力要請
- エ 都道府県労働局、労働基準監督署による企業・法人、事業場への啓発・指導

## (2) 中央労働災害防止協会の実施事項

- ア 安全推進運動の周知啓発
- イ 事業場の安全衛生対策への指導援助
- ウ KY訓練、転倒災害防止、腰痛予防対策に資する研修等の開催、教育支援
- エ 教育用テキスト、周知啓発資料等の提供
- オ 転倒防止のための防滑靴、切創防止手袋、火傷予防手袋等の有効な保護具の普及促進

## 6 実施者の実施事項

### (1) 本社・本部の実施事項

小売業及び飲食店の多店舗展開企業本社並びに多くの社会福祉施設を展開する法人本部は、次の実施事項のうち、企業・法人の労働災害の発生状況等に応じて、必要となる取組を実施すること。

- ア 企業・法人傘下の店舗・施設全体の労働災害の発生状況の把握、分析
- イ 経営トップの意向を踏まえた安全衛生方針の作成、周知
- ウ 安全に配慮した作業マニュアルの作成と店舗・施設への周知
- エ (2) に示す事項を含め、店舗・施設で実施すべき安全衛生活動を定め、店舗・施設での取組を展開するとともに、必要な資料の提供、教育の実施等の支援を行うこと
- オ 店舗・施設における安全衛生担当者（衛生管理者、衛生推進者、安全推進者等）の配置状況の確認
- カ 店舗・施設の安全衛生担当者に対する教育の実施
- キ 本社・本部安全担当者、エリアマネージャー等による店舗・施設に対する危険箇所や安全衛生活動の取組状況の点検、災害防止指導の実施
- ク 安全対策の取組や注意喚起を分かりやすく従業員へ周知するための掲

示や小冊子の配布

ケ 店舗・施設のリスクアセスメントの実施及びその結果に基づく対策の実施

コ 店舗・施設におけるメンタルヘルス対策に係る指導及び実施状況の把握

サ 店舗・施設における健康診断及び事後措置、長時間労働者への面接指導等健康確保措置の実施状況の把握

## (2) 店舗・施設の実施事項

店舗・施設においては、次の事項のうちから、(1)のエにおける本社・本部の指示に基づく事項のほか、店舗・施設の独自の取組も可能な限り含め実施すること。

ア 4S（整理、整頓、清掃、清潔）の徹底による転倒災害等の防止

※ 床面の水濡れ、油污れ等の小まめな清掃、台車等の障害物の除去、安全に介護等の作業ができる作業スペース、通路等の確保など

イ 作業マニュアルの店舗・施設の従業員への周知・教育

ウ KY（危険予知）活動による危険予知能力、注意力の向上

エ ヒヤリハット活動による危険箇所の共有、除去

オ 危険箇所の表示による危険の「見える化」

カ 店長・施設長、安全衛生担当者による定期的な職場点検の実施

キ 朝礼時等での安全意識の啓発

ク 防滑靴、切創防止手袋等の着用、介護機器・用具等の導入、使用の推進、熱中症予防のための透湿性・通気性の良い服装の活用

ケ 腰痛予防対策指針に基づく健康診断の実施

コ 腰痛・転倒予防体操の励行

サ 熱中症予防のための休憩場所・時間の確保

## 7 留意事項

(1) 本社・本部と店舗・施設の役割分担を明らかにして、それぞれの取組の実施を図ること。

(2) 全ての事項の取組を求めるものではなく、店舗・施設の実態等に即して、可能なものから取組の実施を図ること。

(3) 「STOP! 転倒災害プロジェクト」に基づく取組をしている事業場においては、当該プロジェクトに基づき実施している転倒災害防止のための取組を、「働く人に安全で安心な店舗・施設づくり推進運動」に基づく取組事項に組み込むなど、当該プロジェクトも踏まえた取組にすることが有効であること。



## そのほかの主要な講師一覧

No.	期日	分科会	項目	演者	演題	所属・役職
1	11月8日	総合集会	講演	厚生労働省 労働基準局	未定	未定
2	11月9日	製造業安全対策官民協議 会 特別セッション	講演	未定	「これからの産業安全－経営層の役 割－(仮題)」	未定
3	11月9日	安全管理活動分科会 (第2会場)	講演	古澤 登	安全活動の目の付けどころ	安全と人づくりサポート 代表
4	11月10日	機械・設備等の安全分科 会	講演	石原 立憲	“しくみ”を用いた安全確認型システム	TI安全リスクアドバイザー 代表
5	11月9日	安全衛生教育分科会	講演	西坂 明比古	安全文化を高め、一人ひとりが安全 に行動する職場をつくる	西坂労働安全コンサルタント事務所 代表 元 JFEメカニカル(株) 安全衛生部長、教 育推進部長
6	11月9日	防災・危機管理分科会	講演	河田 恵昭	今後想定される首都直下地震、南海 トラフ巨大地震などから災害大国・日 本が生き残るために	関西大学 社会安全研究センター長 特別任命教授
7	11月9日	第三次産業分科会	講演	小澤 信夫	第三次産業における5Sの実践による 労働災害の防止 ～ホスピタリティ・マインド(おもてな し)をここに刻んで～	青森中央学院大学大学院 客員教授 (有)グローバル・マネジメント社 代表取締役

平成 29 年度全国産業安全衛生大会（神戸大会）  
製造業安全対策官民協議会 特別セッション（案）

開催日：平成 29 年 11 月 9 日（木）

会場：神戸ポートピアホテル ポートピアホール(1,700 名収容)

9:30～9:35	5	開会挨拶 製造業安全対策官民協議会会長
9:35～10:05	30	基調講演 「これからの産業安全－経営層の役割－（仮題）」 東京大学 名誉教授 田村昌三
10:05～10:25	20	企業事例 1 検討事項 3 関係：リスクアセスメント活動等の先駆的事例
10:25～10:45	20	企業事例 2 検討事項 5 関係：階層ごとの体系的な安全教育の実施事例
10:45～10:55	10	休憩
10:55～12:30	95	<p>パネルディスカッション 「製造業における安全対策のさらなる強化と経営層の役割 ～ トップダウンとボトムアップの融合による現場力向上～」(仮題)</p> <p>(1) ディスカッションの趣旨（協議会の主な検討事項の紹介）説明 田村先生 (2) パネルディスカッション（→田村先生、向殿先生は適宜コメント） (以下の事項は中災防（案）で今後、要検討）</p> <p>テーマ 1：検討事項 3（リスクアセスメント等）関係 →企業事例 1 に対するコメントを含む。 →最後に、「今後の作業スケジュール」等の紹介</p> <p>テーマ 2：検討事項 5（安全教育の体系的プログラム）関係 →企業事例 2 に対するコメントを含む。 →最後に、「今後の作業スケジュール」等の紹介</p> <p>報告：その他検討事項（検討事項 1：異業種トップ座談会、検討事項 2：OSHMS の JIS 策定、検討事項 4：安全対策の経済効果等）の経過報告等</p> <p>(3) まとめ（田村先生）</p> <p>パネラー 製造業安全対策官民協議会会長 田村昌三（司会・進行） 向殿政男 企業事例 1 の推薦団体 企業事例 2 の推薦団体 助言者 厚生労働省、経済産業省、中災防（理事長）</p>

※ISO(JIS)45001 関連については、「リスクアセスメント／マネジメントシステム分科会」

(11月9日(木) 13:00～17:00) (1,500名収容) でも取り上げる予定。



川西祐三郎  
「白い航跡」



**新設** 特別セッション（製造業安全対策官民協議会の成果報告など）

第76回

# 全国産業安全衛生大会

**開催期間** 平成29年 **11月8日** (水) → **11月10日** (金)

**会場** **総合集会 11月8日** ワールド記念ホール（兵庫県神戸市）  
**分科会 11月9日・10日** 神戸国際展示場、神戸国際会議場ほか



**特別講演** (総合集会)  
**“網膜再生医療の開発”**  
～研究開発におけるリーダーシップ～  
理化学研究所 多細胞システム形成研究センター  
網膜再生医療研究開発プロジェクト  
プロジェクトリーダー **高橋政代**氏

化学物質管理分科会において  
**白川英樹**氏 (2000年ノーベル化学賞受賞) の講演  
**“知るということ”**  
～セレンディピティーと待ち構えた知性～  
**参加費：12,900円** (税込)

**同時開催** **入場無料**  
**緑十字展2017**  
働く人の安心づくりフェア in 神戸  
**期日** 11月8日 (水) → 10日 (金)  
**会場** 神戸国際展示場 1号館・3号館



主催：中央労働災害防止協会  
協力：一般社団法人 兵庫労働基準連合会  
協賛：建設業労働災害防止協会 陸上貨物運送事業労働災害防止協会 港湾貨物運送事業労働災害防止協会  
林業・木材製造業労働災害防止協会 各都道府県労働基準協会 (連合会)  
後援：厚生労働省、経済産業省、国土交通省、環境省、警察庁、ILO 駐日事務所、兵庫県、神戸市  
一般社団法人日本経済団体連合会、日本商工会議所、全国中小企業団体中央会、公益社団法人関西経済連合会  
兵庫県経営者協会、兵庫県商工会議所連合会、神戸商工会議所、兵庫県商工会連合会、兵庫県中小企業団体中央会  
一般社団法人兵庫県医師会、兵庫県社会保険労務士会、兵庫産業保健総合支援センター、日本労働組合総連合会兵庫県連合会  
公益社団法人日本保安用品協会、一般財団法人地方公務員安全衛生推進協会

**JISHA 中災防**

お問合せ先  
中央労働災害防止協会 教育推進部 イベント事業課  
TEL：03-3452-6402 <http://www.jisha.or.jp/>

# 第76回 全国産業安全衛生大会

## 総合集会

11月8日(水) 13:15～17:00

安全衛生に功績のあった方々の表彰、厚生労働省の講演、理化学研究所多細胞システム形成研究センターで網膜再生医療の研究に取り組まれている高橋政代氏による特別講演を行ないます。

## 分科会

11月9日(木)・10日(金) 各会場とも9:30開場

労働災害防止に関連するテーマごとに分科会を設けています。全国の事業場からの改善事例や研究発表をはじめ、安全衛生の専門家や幅広いジャンルの講師による講演、シンポジウム等多彩なプログラムをご用意しています。

### リスクアセスメント／マネジメントシステム

今年新たに発行するISO45001に関する討論、労働安全衛生マネジメントシステムの導入による安全衛生活動の改善事例、企業におけるリスクアセスメント事例等

### 安全管理活動（第1～第3会場）

厚生労働省、経済産業省、中央労働災害防止協会と製造業の主要な業界の経営層が設立した製造業安全対策官民協議会による特別セッションの他、職場の安全管理活動の事例等

### 機械・設備等の安全

機械・設備に関するリスクアセスメント事例等

### 安全衛生教育

企業内における安全衛生教育の取り組み事例等

### ゼロ災運動

ゼロ災害全員参加運動による安全衛生活動事例、危険予知活動による安全衛生活動事例等

### 交通安全

職場の交通安全対策事例等

### 防災・危機管理

企業における防災・震災対策、危機管理、事業継続計画(BCP)事例等

### 労働衛生管理活動

職場の作業環境管理、作業管理および健康管理に関する事例等

### 化学物質管理

白川英樹氏(2000年ノーベル化学賞受賞)による講演  
化学物質に関する安全衛生活動事例等



撮影：菅野和彦

### メンタルヘルス／健康づくり

職場のメンタルヘルス対策に関する事例、健康づくり活動に関する事例等

### 中小事業場

中小事業場の安全衛生活動や健康づくり活動に関する事例等

### 腰痛予防対策／第三次産業

社会福祉施設、小売業等を対象とした「働く人に安全で安心な店舗・施設づくり推進運動」の一環の腰痛予防対策や第三次産業における安全衛生活動・健康づくり活動に関する事例等

分科会名	日程		会場名
	11/9	11/10	
リスクアセスメント／マネジメントシステム	⚓	⚓	神戸国際展示場
安全管理活動(第1会場)特別セッション	⚓	⚓	ポートピアホール
安全管理活動(第2会場)	⚓	⚓	神戸国際展示場
安全管理活動(第3会場)	⚓	⚓	神戸国際展示場
機械・設備等の安全		⚓	神戸国際会議場
安全衛生教育	⚓	⚓	神戸国際展示場
ゼロ災運動	⚓		神戸国際会議場
交通安全	⚓		神戸商工会議所
防災・危機管理	⚓		神戸商工会議所
労働衛生管理活動	⚓		神戸国際会議場
化学物質管理		⚓	神戸国際会議場
メンタルヘルス／健康づくり	⚓	⚓	神戸国際展示場
中小事業場		⚓	神戸国際展示場
腰痛予防対策／第三次産業	⚓		神戸国際展示場

### 参加費

一般 1名 12,900円(税込)  
中災防賛助会員 1名 6,400円(税込)

※上記参加費にて3日間いずれの会場にもお入りいただけます。  
※中災防賛助会員料金(会員口数1口につき1名分適用)による参加申込みは、会員事業場で担当者様あてにお送りする専用申込書をご利用ください。

### お問合せ先

中央労働災害防止協会 教育推進部 イベント事業課  
TEL:03-3452-6402(直通) FAX:03-5443-1019

大会HP <http://www.jisha.or.jp/taikai/index.html>

中災防 全国大会

検索